

事務事業評価(事前評価)シート【令和2年度】

主管課(担当名)	農林課(農政担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	あさひ東根室地区公社営草地整備事業	事業番号	12800

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-6	農業の振興
	施策目標	自然環境と調和した持続可能な農業を展開するまち	

2 事務事業の目的

目的	草種構成の悪化や収量の低下を防ぎ、生産性の向上と生産コストの低減を図るため、農地の起伏修正等を行い、大型農業機械の稼働率の向上と草地の適正な改良を行う。
成果	自給飼料(草地)の生産性の向上と生産コストの低減を図り、酪農経営基盤を強化する。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input checked="" type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	H30							
	R1							
	R2							農業農村整備事業に係る分担金の支出事務(草地整備 113ha)
	R3							農業農村整備事業に係る分担金の支出事務(草地整備 115ha)
	R4							農業農村整備事業に係る分担金の支出事務(草地整備 90ha)
事業費と内訳	(単位:千円)		H30	R1	R2	R3	R4	総事業費
	事業費				34,749	33,007	24,321	92,077
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債			4,300	4,104	3,000	11,404
		その他			29,944	28,443	20,961	79,348
		一般財源			505	460	360	1,325
	人員(人工)				0.08	0.08	0.08	0.24
	職員費(人員×7,673千円)				614	614	614	1842
	総事業費				35,363	33,621	24,935	93,919
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
	合計/年							

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (R1)	目標値 (R2)	目標値 (R7)
	10aあたりの牧草収穫	3,518kg	3,600kg	3,700kg

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	酪農経営において、自給飼料生産基盤整備は必要不可欠であり、本事業により、自給飼料(草地)の生産性の向上と生産コストの低減が図られる。
-------------------	--

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 酪農経営において自給飼料生産基盤整備は必要不可欠であり、要望量は多い。
イ. 市が実施する必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 北海道農業公社が実施主体である。
ウ. 事業の緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 近年の飼料価格高騰や酪農情勢の変化に対応するため緊急性は高い。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 農地の状況や要望等を確認し、適切な対策を講じている。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 事業内容等について、関係機関や地元酪農家の要望のほか、利害関係者等の意見も参考にして進めているため公平性は高い。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 生産性や農作業効率の向上による飼料自給率の向上が図られ、生産コストの低減につながり有効である。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<input checked="" type="checkbox"/> 【計画どおり実施】 関係機関や事業参画事業者等と連携し、円滑に事業推進を図られたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 速やかに事業を実施し、生産性の向上や生産コストの低減を図り、酪農経営基盤の強化を推進する。

作成年月 令和2年6月